

開通区間の整備効果②

海老名JCT等の交通混雑緩和と移動時間短縮による定時性向上

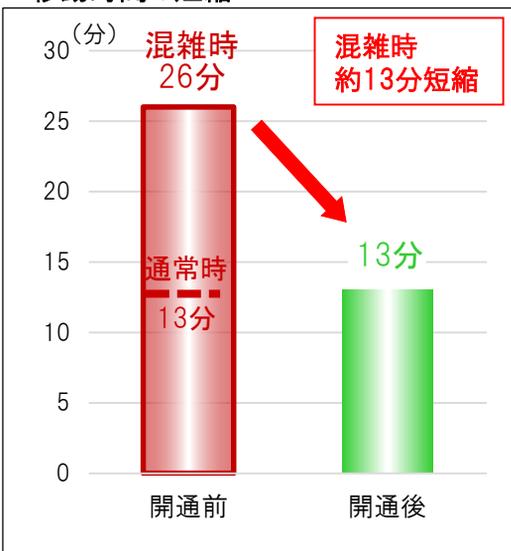
NEXCO

○新東名厚木南ICの開通により、海老名JCTでの選択肢が増えることで、海老名JCTおよび厚木IC周辺道路の交通混雑が緩和され、定時性が向上します

■海老名JCT付近の混雑状況



■移動時間の短縮



※相模原市(相模原愛川IC)～厚木市(戸田交差点)の所要時間



新東名高速道路への期待の声

○通勤利用者の声

相模原市から圏央道を利用して厚木市内に通勤しています。厚木南ICが開通すると、厚木IC周辺の混雑を回避して通勤できるようになるので、通勤時間の短縮に期待しています。

○物流企業の声

中部や関西方面から関東首都圏各地への配送の中継のための内陸倉庫として機能しています。これまでは東名や圏央道方面では、厚木ICをメインに活用しており、開通後、最寄となる厚木南ICを活用することによる配送時間の短縮やそれに伴うコスト削減の効果がでることを期待している。